



## 地域農業の未来について考える 自分の農地の未来を考える座談会

「自分の農地の未来を考える座談会」が2月12日から27日まで町内全9会場で開催。この座談会は、国の農地中間管理事業の見直しなどに伴い、町が2019年9月に実施したアンケート結果に基づきまとめられた農地の現況図面を見ながら地域農業の課題を共有するために開かれました。

座談会には各地域の農業従事者らが参加し、地域の高齢化や担い手不足が進む中、10年先を見据えた地域の農業を守るための取り組みなどについて意見を交わしました。



## 今後の戦略について話し合う 岩手県自動車関連産業作戦会議2020

1月30日、愛知県豊田市の名鉄トヨタホテルを会場に「岩手県自動車関連産業作戦会議2020」が開催されました。

会議には、岩手県と県内の自動車関連企業が立地している市町村長、自動車関連企業27社が出席し、県内の自動車関連産業の現状や課題などを共有し、今後の戦略などについて話し合いました。当町からは青木町長が参加し、「今後町では新たな工業団地の整備などを検討し、企業を迎え入れる準備を行っていく」とPRしました。



## 地域資源の価値に理解を深める 東稲山麓地域世界農業遺産シンポジウム

2月15日、平泉ホテル武蔵坊を会場に「東稲山麓地域世界農業遺産シンポジウム」(同遺産認定推進協議会主催)が開催されました。シンポジウムには町内外から約110人が参加。「大崎耕土のG I A H S とアクションプラン」をテーマとした講演のほか、認定に向けた取り組みに関する報告や東稲山麓地域3市町物産販売促進委員会による活動発表が行われました。参加者は貴重な地域資源について再認識し、価値を高める必要性に理解を深めていました。

## 子どもたちの読書推進に貢献

### 「たろうアンドはなこ」が読書推進運動功績者表彰

お話しの会「たろうアンドはなこ」(千葉節子代表、会員6人)がこのほど、読書推進に多大な貢献をした団体として、県読書推進運動協議会の読書推進運動功績者表彰を受賞しました。同会は「本を通して子どもたちと楽しみたい」という思いを持つ有志らで平成16年に結成。町立図書館や長島小学校を中心に大型絵本や紙芝居、飛び出す絵本、音楽などを利用した「歌と一緒に話し会」「マリオネットと楽しむ話し会」などの工夫を凝らした読み聞かせを行っています。



## 親子で一緒に椅子作り 平泉ライオンズクラブ親子木工教室

2月4日、平泉ライオンズクラブ(村上耕一会長)が主催する「親子工作教室」が長島保育所で開かれました。作業では平泉ライオンズクラブ会員のアドバイスを受けながら、保護者らと協力して、背もたれ部分に自分の思い出の絵が描かれた特製の椅子作りに取り組みました。同クラブ村上会長は「この教室は今年で5年目となる。椅子作りを通じて、ものを作る楽しさや親子での思い出づくりにつながればと思う。今後も続けていく」と話していました。

## 後任に防火活動とクラブ旗を託す 長島少年消防クラブ退団式

長島小学校児童で組織する長島少年消防クラブの退団式が2月6日、同校で行われました。式には退団する6年生14人を含む全校児童と教職員、地域の消防関係者らが出席。

退団者を代表して旧団長の千葉悠太さんが、これまでの活動を振り返るとともに「先輩たちから受け継いだ素晴らしい活動をこれからも続けていってほしい」とあいさつ。クラブ旗を受け取った新団長の千葉結斗さんは「これからも火の用心の活動を続けていきます」と決意を述べました。



## 日頃の練習の成果を披露 平泉町芸術文化協会舞台部門発表会

町芸術文化協会主催の令和元年度平泉町芸術文化協会舞台部門発表会が2月15日、平泉小学校体育館を会場に開催されました。発表会には、日頃から舞踊や三味線、民謡などに取り組んでいる町内13団体などが多彩な演目を披露しました。ステージ上で繰り広げられる出演者たちの素晴らしい発表に、会場に詰め掛けた観客からは盛大な拍手が送られていました。発表会の最後には、毎年恒例のお楽しみ抽選会も行われ、会場は多くの来場者でにぎわっていました。



## 家族と支援者の心構えを学ぶ ひきこもり勉強会

ひきこもり勉強会は2月7日、町役場で開かれ、町内から約20人が参加しました。そらをみた会家族心理士補の阿部直樹さんが「ひきこもりの人を支える家族と支援者の心構え」と題し、家族支援の意義や支援の心得などを分かりやすく説明しました。阿部さんは「ひきこもりの原因は複雑で特定しづらく、本人にさえ分からないことが多い。まずはひきこもりについて知り、支援者自身が心身のコンディションを整えていくことが大切」と話していました。